

鳥取市教育委員会 教育長 様

河原第一小学校の教育を考える会

要望書

令和5年 10 月に小学校・あゆっこ園関係者、地域関係者等で構成する河原第一小学校の教育を考える会を設置し、7回の会を重ね検討しました。

「鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針」で、本校が「早急に議論が必要な地域」にある学校と位置付けられたことを受け、市全域及び本地域並びに本校の状況、再編製の想定形態、その他関連する課題等について整理し、令和6年度はじめに小学校・あゆっこ園保護者を対象に説明会及びアンケート調査を行い、地域に対しては8月に、保護者アンケートの結果も含めた内容を説明(対象：部落長)、広報紙配布(全世帯)及びパブリックコメントによる意見収集を実施しました。

◆ 小学校 76・あゆっこ園 44 世帯 合計 120 世帯から得たアンケート結果は

○ 統合した場合に期待されることとして (3割以上の回答があったもの)

- ① 様々な友だちとのふれあい(80 人)
- ② 学校全体の活気(46 人) よい意味での競争意識・切磋琢磨(46 人)
- ③ 多様な考えに触れる場面(39 人) 社会性・協調性・コミュニケーション能力の育成(39 人) …以下略

○ 不安として

- ① 通学方法・通学時間(83 人) ② 教員の関わりへの影響(71 人) ③ 放課後児童クラブ(43 人) …以下略

○ 統合の是非については、同意的回答 62% 不同意的回答 4%

○ 義務教育学校の検討については、同意的回答 26% 不同意的回答 58%

◆ 地域住民からのパブリックコメントは 15 人から回答があった

○ 小学校統合に対し同意的な意見は 12 人あったが、不同意的な意見はなかった

○ 校種については小学校統合を望む意見 4 人、義務教育学校を望む・検討を望む意見は 7 人あった

河原第一小学校 全 139 世帯のうち
76 世帯から回答(回答率 55%)
あゆっこ園 全 106 世帯のうち 71 世帯から回答(回答率 68%)
※あゆっこ園回答のうち、小学校調査でも回答のあった 27 世帯を除く 44 世帯を集計対象とした

つきましては、下記のとおり希望しますので、よろしくお願いいたします。

記

1 小学校再編製の検討を希望します。なお、その場合には河原第一小学校としては河原町内の小学校との統合を希望します。

(理由) 河原第一小学校において児童数の減少によりクラス替えができないといった状況が表れており、小学校再編製の検討を希望します。ただし、通学の負担・安全性の面から、河原町内での統合が適当ではないかと考えます。町内の統合を機に地域資源を活かした教育活動の推進が期待されると考えます。あゆっこ園での幼児教育の成果を小学校につなげていく面でも有効と考えます。

2 統合する学校の位置は、現在地または近隣地を希望します。

(理由) 保護者のアンケートから、統合による懸念内容として通学の問題が第一にあがっています。現在地から離れた位置、例えば河原中学校付近に変わるとバス通学児童が大幅に増え一台の路線バスに乗車できないことが予想され、さらに、最寄りのバス停が遠いため通学の負担が増すという問題が生じます。また、徒歩通学児童にとっても、通学の時間的負担が増すばかりでなく、防災面防犯面も含め通学路の安全性が危惧される個所があります。なお、この課題への対応策が講じられないままに再編制・統合が決定されることは、保護者・地域の理解は得られないと考えますのでよろしくお取り計らいください。

3 校舎については当分の間は現校舎を使用するとしても、近い将来には新たな環境整備を希望します。

(理由) 現校舎は築50年を経過し老朽化しています。防災機能の向上とともに、放課後・休日に児童の学びや遊びに活用でき、地域との交流、まちづくりにもつながるような複合的な施設環境としての整備の検討を併せてお願いします。

4 義務教育学校については、河原町内全体で組織する検討会で協議されることを希望します。

(理由) 義務教育学校について十分な理解や検討がなされておらず、中学校を含めた町内学校のあり方や再編後の教育について町全体で検討する必要があると考えます。